

平成20年4月3日

台湾超低温まぐろはえなわ漁船23隻追加減船実施  
183隻減船完了へ

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構(OPRT)[会長:中須勇雄]は、3月2日から3月5日、水産庁補助事業「責任あるまぐろ実践推進事業」により、調査員を台湾へ派遣し、2007年度実施予定の23隻の台湾超低温まぐろはえなわ漁船の減船の進捗状況について調査した。

調査の結果、対象船23隻全船は高雄港にて台湾漁業署に引き渡しを完了。うち9隻は台湾海軍へ標的船として既に海軍に引き渡されていた。残り14隻は主機・補機・冷凍機が破壊されており、今年内にスクラップされる予定。現在、漁業署の管理の下、高雄港内で係船されている。(OPRTホームページ [www.oprt.or.jp](http://www.oprt.or.jp):「写真で見るOPRT活動」に現地写真掲載中)

台湾は2005年から2007年の3年間で、合計183隻の超低温まぐろはえなわ漁船をスクラップ等により減船した。年度毎の内訳は下記①の通り。

この結果、台湾の遠洋超低温まぐろはえなわ漁船の海域別の許可隻数は下記②のように減少した。

①年度別減船隻数		②海域別許可隻数	
2005年	59隻	大西洋	113隻
2006年	101隻	インド洋	214隻
2007年	23隻	太平洋	96隻
合計	183隻	合計	423隻

また、183隻の減船に要した減船補償金は台湾政府及び業界が負担し、総額約250億円に達している。

減船の結果、日本が台湾から輸入する冷凍マグロの輸入数量も減少し、05年125千トン、06年70千トン、07年(見込み)54千トンとなっている。

(問合せ先)

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構  
事務局長:田端 事業部長:人見  
TEL:03-3568-6388  
FAX:03-3568-6389